

西小倉めぐみ教会通信

発行者 日本キリスト教団 西小倉めぐみ教会
〒611-0042 京都府宇治市小倉町西浦33-36
TEL&FAX 0774-20-3071 <http://www.n-megumi.com/>

「命が命を」

役員 団野利男

私は15年前にうつ病が発症し、精神障がい者となりました。倉橋牧師が私達の教会に赴任されたのは、2005年4月1日でした。私達は深い深い祈りを持って牧師が来てくださることを願いました。前任地での16年間に亘る牧会での働きは多岐にわたり、常に弱い立場にある人達と共に歩み、とりわけ障がい児・者の人達と交わりを深めてこられました。しかし、それらは決して簡単に進んだかというところではなかったと思います。というのも牧師は20数年前からうつ病を患われ、病と共に歩まれてきたからです。

うつ病の特徴には個人差がありますが、朝にとてもしんどくなり起きられなかったり、苦しみに襲われることがあり、牧師も私も日内変動といい、時間が経つにつれて少しずつ楽になって行く傾向があります。牧師は赴任されてから躁うつ病であることも分かり、その他にもこの5年間で大きな病をいくつも経験され、3回の入院・手術も受けられました。このことを通しても、弱さを担う牧師が、尚、神様に生かされ、用いられていることに勇気づけられてきました。又、教会には様々な理由で来たくても来られない人、病や障がいの故に来られない人が何人もおられます。

私達の祈りは全ての方が共に等しく、神様の恵み、慰め、癒し、お守り、導き、の一日がありますように祈ります。西小倉めぐみ教会は小さな教会ですが、私達はそれを誇りとし、与えられた御心を数え共に分かち合いたいと思っています。これまでにこの通信を読んで下さり尊い献金をして下さった事には感謝の気持ちで一杯です。

私事ですが車で会社に通勤している時、子ども達の通学時間と重なります。あらゆる交差

点ではボランティアの保護者達が、子ども達が安全に通学出来るように誘導されています。ある交差点では松葉杖で歩行されているおじいさんが、子ども達が安全に横断歩道を渡れるように、道の中央に立って支援されています。そして子ども達が渡りきった後にそのおじいさんは、松葉杖でゆっくりと自分も渡り、深々と頭を下げておじぎをされます。

私はその光景を見て、まさに命が命を支えているのだと感じています。たとえ障がいがあっても自分のできることで弱い立場の人達の命を守っている、キリスト教会もこんなふうにあるべきではないかと心打たれます。

教会の礼拝では座ったままで讚美したり、点字の聖書があったり、フロアがバリアフリーであったり、車椅子でも使いやすいトイレであったり、礼拝堂ではしんどくて居られない人の為に、横の畳の部屋でも、また2階でも放送を聴きながら礼拝を守れるように工夫してきました。この通信を読んでくださった方が私たちの教会に訪れてくださったなら、どんなに嬉しいことでしょう。そんな日が来ることを、心待ちにし、生かされ生きて行きたいと思います。

このような教会が、細々ながらも、イエス様に従って歩んでいることを、共に喜び、また心に覚えていただければ、幸いです。



2010年前半・教会のあゆみ

<南山城伝道協議会主催 信徒交流会> 1月31日



京都南部地区の南山城伝道協議会主催の「信徒交流会」が、当教会を会場に、世光教会の榎本栄次牧師を講師に、7教会33名の参加を得て開かれました。

「人であること、人になること」と題した榎本牧師の講演では、子どもたちをめぐる様々な課題を通じて、人間性の回復を図ることが、宣教の課題であることが力説されました。

講演後の交流の場では、榎本牧師から、一教会のはたらきの限界と、いくつかの教会が連帯して取り組むことの大切さが語られました。当教会のささやかな青少年のフリースペースのはたらきも、連帯の中で広がりを見せることを願うものです。

<イースター特別礼拝と愛餐会> 4月4日

イースター特別礼拝は、倉橋牧師による「心は燃えていたではないか」と題した宣教を聴き、主の復活を心から感謝し、喜びをもって礼拝を守りました。

礼拝後は、久々に教会を出て、数km離れた久御山町一〇(いもあらい)へ出かけ、川べりで狭々とはありましたが、手作りの弁当を食べながら桜の花見をしました。

雨の多い春でしたが、この日は天候に恵まれ、久しぶりの顔も含めて最近ではやや多めの16人が集まって、イースターの喜びを共にしました。



<教会総会> 4月18日

1981年に創立した当教会は、以前から課題であった宗教法人化に向けて、具体的な手続きを進めていくことが、全員一致で承認されました。

併せて、来年迎える30周年に向けて、記念礼拝と祝会の実施、記念誌作成、教会紹介パンフレットの作成、クリスマス特別伝道集会の実施、そのための献金集めなどに取り組んでいくことになりました。

とはいえ、本人、家族の病気などで手薄な人数で進めていかなければならない中、献金をいただいている全国の方々の支えに感謝し、それを力にしてこうと、一同想いを新たにしましたところ。

祈り、祈られて

牧師 倉橋 剛

聖名を崇めます。小さな小さな教会が、大きな大きな皆様のお支えの中で生かされ、教会通信も第10号を出すことが出来て感謝です。今回は、一面に当教会の教会員であり役員でもある団野利男さんが寄稿してくださいました。うつ病の言葉では表現しがたい苦しさ、辛さを担いつつも、本当に信仰者として精一杯の日々を過ごしておられる団野さんの視点から教会を紹介してくださいました。文章を読んで、改めて私のような弱さを山ほど抱えた牧師を祈りに覚え、教会を支えてくださることを感謝しました。

私たちの西小倉めぐみ教会は、「祈り、祈られ、祈り合う」そんな教会です。このような教会をいつもお支え下さっている皆さまに、心よりお礼申し上げます。そして、続いてお祈りの内に覚え、お支えいただければどれだけ力を与えられることでしょうか。感謝の思いを持って。

在 主

団野明日香さん 「第35回記念わたぼうし音楽祭」に再び入選

西小倉めぐみ教会の教会員である団野明日香さんが一昨年に続き「第35回記念わたぼうし音楽祭」に入選されました。この音楽祭は障がいのある人たちの思いを多くの人々に伝えようと、1976年より奈良で開かれているものです。団野明日香さんは、不安神経症や摂食障害などの精神障がいがある方です。一人娘への想い「我が子へ」という題で全国各地から多数の応募の中から、今回は「作詞の部」のみならず、東京都在住の方に曲を付けていただき「作詞・作曲の部」でも入選されました。作品は8月1日に奈良県文化会館国際ホールにて発表されます。

「我が子へ」

団野明日香

「おめでたですね」の一言に
嬉しさと不安が 心をよぎった
育てていけるのかな こんな私だけで
「我が子ができるなんて、奇跡だね」
「僕も弱さはあるけれどがんばって
育てよう」
…時は過ぎ…
MY BABY 笑顔が光ってた
MY BABY やんちゃな元気っ子
MY LADY 今は素敵なお嬢さん
おしゃれになって青春の中
もしわたしに障害がなくて
もし父にも弱さがなかったら
色々してあげられたのにとって悔しいけど

私は壊れた心をもって
父も薬が離せない日々で
それでも心穏やかに触れてきてくれる
YOUR MOTHER 私でいいのですか？
YOUR MOTHER 涙ためてうなづいた
I'M MOTHER その涙忘れません
優しく包み込んだ
愛が溢れるあなたは

私が育て上げたのではなく
あなたが大きな力をくれたのです。

言えなくていっぱい悩んできたでしょう
苦しくて一人泣き神様に祈ってたね
MENEY THANKS こんな我が家だけで
MENEY THANKS 楽しかったかい？
THANKS YOU あなたに
生かされました
本当にありがとう
我が子よ
これからは
自分の人生に
いっぱい夢見て
歩いてください
それが母の祈りです



「わたぼうし音楽祭」「我が子へ」についての
お問い合わせは以下まで
〒600-8044 奈良市六条西3-25-4
奈良たんぼぼの会 TEL:0742-43-7055

信徒からの一言

私と教会

杉本節子

私には、重度の障がいを持った息子がいます。今は、遠く離れた施設に入っています。言いたいこと、いっぱいあると思いますが、自分の思いを話すことも出来ません。でも、一生懸命生きています。私は息子を通してたくさんの人達と出会いました。又、たくさんのことを学びました。息子に感謝しています。

そんな息子が西小倉めぐみ教会に私を導いてくれました。西小倉めぐみ教会は小さな教会ですが、暖かい教会です。来たくても来れない人達が多く5,6人で礼拝を守ることもあります。礼拝の後、お昼の食事の準備をしながら、食事をしながら、片付けをしながら、色々な話が出ます。困難なことが次々と起こってきますが、教会の皆さんに話を聞いていただき、アドバイスをいただき、乗り越えてきています。

私にとって西小倉めぐみ教会は、ほっこりする場所、心休まる大切な所です。

「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援のお願い

主の御名を讃美いたします。

西小倉めぐみ教会は、1981年の創立以来、社会の中で小さくされた人たち、貧しくされた人たち、しょうがいをもつ人たち、とりわけ精神しょうがい者の人たちの課題を共に負って生きること、平和を希求して歩むことを宣教の課題として歩んできました。2005年から倉橋剛牧師を後任牧師に迎えた後も、その基本姿勢に変わりはありません。

西小倉めぐみ教会では、教会に集う人たちが精神しょうがい者であったり、その家族に精神しょうがい者がいる人たちが多くを占めています。弱い立場にある人たちが多く集う教会ゆえに、教会員による精一杯の献金にもおのずと限界があるところです。

そのため、倉橋牧師招聘後の謝儀に対し、京都教区宣教連帯の制度から援助を頂き、さらに全国の皆様から「西小倉めぐみ教会を支える会」に献金をいただき、なんとか牧師家族の生活を支えてきました。ところが、教区の財政状況も厳しく、2009年度から施行された京都教区宣教連帯援助金の制度では、一教会年間130万円が上限とされた中で、教会の支出を見直すとともに、牧師家族には様々な面で生活を見直していただき、切り詰めるられるところは切り詰めていただく等の努力をさせていただいております。

そんな厳しい状況にあっても、小さく弱い群だからこそこの教会が神様から与えられた使命を果たし続けるため、来年の創立30周年と前後して、宗教法人化の手続きを進めて基盤を強化すると共に、当教会の社会的はたらきをより広く知ってもらうための記念事業を進めていくこととしました。

そのようなこの教会のはたらきと、厳しい経済的事情にどうかご理解をいただき、「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援をいただきたくお願い申し上げます。

2010年6月

西小倉めぐみ教会を支える会 代表 山下茂雄（醍醐教会牧師）

今までに御献金いただいた方のお名前(敬称略・順不同)

2009.12.21~2010.06.20現在

宇治教会 鴨東教会 山下茂雄 君村千代子 安野喜仁・優美 世光教会 芦屋山手教会
藤本 真・横田督子 深澤 馨 千葉教会 難波 巧 佐藤嘉子 草加教会 阿佐谷東教会
神戸愛生伝道所 宇治大久保伝道所 明石義信 中沢 譲 福井達雨 巢鴨ときわ教会
川上幹太 湯谷忠興 長岡京教会 天門教会 大阪東十三教会 福知山教会 彦根教会
津山教会 東中通教会 西千葉教会 松山教会 塩尻アイオナ教会 高知教会 西条教会
野方町教会 岡本教会 葛西佳子 林 栄子 城陽教会 倉敷教会 須磨教会 紫野教会
愛宕町教会 市川教会 南大阪教会 土佐教会 松戸教会 膳所教会 能勢口教会
番町教会 山田 裕 奈良いずみ 同志社教会 宝塚教会 代々木上原教会 京北教会
交野教会 横浜菊名教会 久が原教会 東神戸教会 高の原教会 チャペル福音館伝道所
清水ヶ丘教会 水口教会 東京山手教会 松井田教会 大音和美 京都教会 洛西教会
埼玉新生教会 静岡草深教会 岡山教会 田中 晁・千栄 西本 愛 小曾根一枝
杉本節子 団野利男・明日香・華保 橋本 博 門戸幸子 岩城澄子 倉橋 剛・容子
(137件 計737,738円)

●教会のホームページをご覧ください！！

西小倉めぐみ教会のホームページが出来ています。まだまだ内容はこれからですが、これから充実させていく予定です。教会通信の1号から9号までも掲載しています。是非一度ご覧ください。アドレスはwww.n-megumi.comです。

また、不登校やひきこもりがちな子ども達、若者達のフリースペース『おやすみ』のホームページもあります。アドレスはoyasumi.infoです。こちらの方も併せてよろしく申し上げます。